



2月8日(土) 菅平奥ダボススノーパーク

令和元年度
子ども会育成だより
上田市子ども会育成連絡協議会

第50号
3月2日発行
編集・発行
上田市子ども会
育成連絡協議会



まずは、準備体操からスタート。手足も大きく伸ばしてケガもしないよう準備をします。

雪不足を心配していましたが、前日からの雪で「白銀の世界」となった奥ダボススノーパーク。22名に御参加いただき、大人も子どももシーズン初の雪遊びを目いっぱい楽しみました。
講師の先生から「そり、スコップ、スノーソー(雪を切り出すのこぎり)など好みの道具を選んで、やりたい遊びを思いっきりやってみよう!」と説明を受け、遊びがスタートしました。

新雪の上に大の字で寝転んで気持ちいいね。



大人が作ってくれたかまくらでひと休み。



「何して遊びたい?」親子で相談して道を選ばれます。

「ぞりコース」も滑り降ります。バランスが難しいぞ!?



白銀の世界を楽しみ大満足。たくさん遊びました。



ライオンタイムのひととき。ハロスタインデー前なのでスタンプ特製の「チョコフォンデュ」でエネルギー補給。

ブロックだより



豊殿育成会は十三地区の自治会から構成され、育成会活動は各ブロック単位で行わ

豊殿育成会理事 柄澤 新一郎

大日本子ども育成会の活動

また、毎年恒例のボーリング大会も、二人ではあまりにも寂しいので、同じように児童数が減少している育成会に声をかけて、三地区合同で行うことができました。(それでも合計七名です。)

自治会や他地区との交流を通して 原町育成会 田頭 貴子



今後子どもが増える見通しが無いので同じような状態が続くと思いますが、その時々でできることを考え、自分の地区にこだわらず、少し広い範囲の地域でも交流を考えていけたらいいのかな、と今年度の活動を通して感じました。

れています。今回は大日本子ども育成会の活動を紹介します。

二月には道祖神祭りのため、一日目の夜、子ども達がお札配りで各家庭を回り、二日目は自治会内を太鼓をたたきながら歩き、親子交えて懇親会を行います。五月は自治会内のゴミ集め、八月は親子そろっての食事会、夏祭りではスイカ割り、花火大会、ピング大会を行い、子ども達にとって楽しい思い出になったと思っております。

私達が子どもの頃は、凍った川で遊んだり、段々になっていく田んぼをジャンプして体を鍛えたり、常に自然が関わっていました。遊び方は変わりましたが、育成会の活動を通じて、子どもたちの生き生きとした姿を見ることで新たな発見もあり、私達もがんばろうと思いました。



★青少年善行表彰受賞!

今後は道のりリーダーとして小学生の子どもたちを導いていく姿を、温かく見守っていききたいと思

この4名は、過去5年間、市子連主催のキャンプにジュニアリーダーとして参加し、親元を離れて不安な小学生に寄り添いながら、自分が参加者だったときに感じた体験活動のすばらしさを伝えて

令和元年11月30日(土)に上田市青少年善行表彰式が開催され、小林夕希子さん、西沢瑞稀さん、西沢柚稀さん、藤澤鈴香さんが受賞しました。



お邪魔しました!

東前山育成会では毎年、育成会長さん自ら「夏休み子ども工作教室」を開催し、夏休み中の子どもたちの居場所作り、体験活動の支援をしています。残暑厳しい8月18日(日)集会所に子ども6名と保護者1名が参加し、ゾートロップ(動く絵)の制作に取り組んでいました。優しく声をかけ、子どもの興味を引き出す御指導に地域の温かさを感じました。

編集後記 免疫システムは15歳前後までに出来るそうです。体験活動を通してからだを動かす、筋力アップしてウイルスに負けないからだを作りましょう。最後に育成会長の皆さま、一年間の育成活動に御尽力いただき、ありがとうございました。(事務局)



海 の 体験教室 台風の影響で海が荒れてしま、残念ながら地引網を引くことはできませんでしたが、「貝のフォトフレーム作り」「魚さばき体験」「浜汁作り」に18家族46名が挑戦しました。魚さばき体験では、出刃包丁を使って頭を落とし、内臓を取り出し、皮をはいで浜汁を作るために大奮闘!! 地元の漁師さんたちの熱心な指導の下、魚との格闘に大興奮でした。



海の体験教室

10月26日(土) 上越市上下浜海岸